

2010 年度 現代の子どもが考える「よい子像」と自己肯定感

現代の子どもが考える 「よい子像」と自己肯定感

教育学研究室 橋本紀子教授
保健養護専攻4年
北村瞳 細川いづみ 松平悠果

課題意識

2000年 17歳少年事件
2008年 秋葉原事件 等

- 90年代以降、凶悪事件相次いで発生
- これらの事件の犯人の背景

☆子どもの頃大人たちからよい子と言われて育ってきた
☆社会に認められていないことが不満(自己肯定感が低い)

- なぜ、よい子とほめられてきたのに、自己肯定感が低いのか
- 保護者や大人ではなく、子ども自身がよい子についてどう考えているのか

方法

- 関連資料及び文献の収集と検討
- 質問紙調査
 - 埼玉県内の公立校の中学生
(男性34名・女性31名 計65名実施)
 - 埼玉県内の私立校の高校生
(男性50名・女性161名 211名実施)

文献研究

- 「よい子」とは

長谷川(2008)は、「よい子」は、大人がこうあってほしいと期待する振る舞いを見せている場合に使われる呼び名であると述べている。

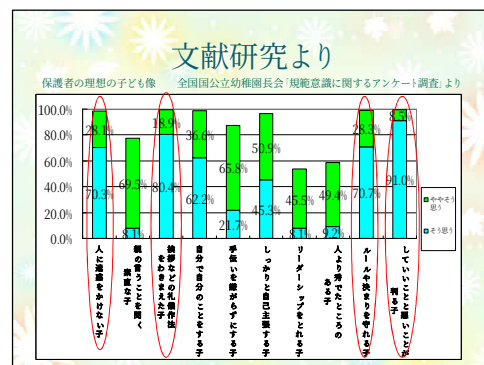
(長谷川博一「よい子」とはどんな子か―親・教師から見て「児童心理」2008年11月号より)

文献研究

- 自己肯定感の定義

「自己肯定感とは、自己自身の存在に対する認識として、自己の身体的な特徴や能力や性格などについて肯定的に考えたり、感じたりする感情をさす。」

(「教育用語辞典」編集委員代表 山崎秀剛・片上宗二 ミネルヴァ書房 2007年)



質問紙調査の概要

(調査目的)
・中学生、高校生の「よい子像」、自己肯定感を知る
・自己肯定感の形成に関係すると考えられる家庭環境や生活の実態を知る

(調査時期)
平成22年10月～12月

(調査対象)
中学1年生 64名 (男子34名、女子30名)
高校1、2年生 211名 (男子50名、女子161名)

質問紙調査枠組み

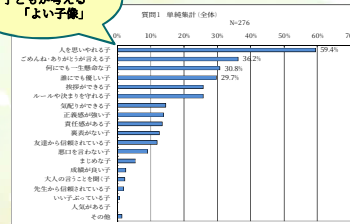
- 下記の通り大きく6項目に分けて調査を行った ([]内は質問番号)
- 対象者の属性: [欄外]
- よい子像: [1] [2] [3]
- 自己肯定感: [4] [5]
- 家族構成: [6] [7] [8] [9] [10]
- お小遣い、習い事: [11] [12] [13]
- コミュニケーション: [14] [15] [16] [17] [18] [19] [20] [21] [22] [23]
- ストレス: [24] [25] [26] [27]

自己肯定感の設問項目

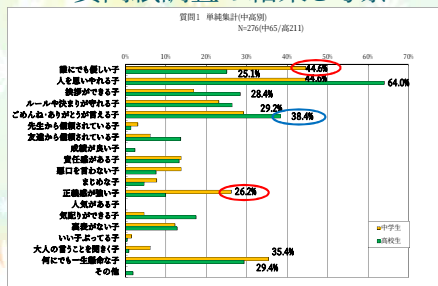
- 自分が好き
- 自分に自信があるものがある
- 自分は周りから好かれていると思う
- 自分が必要とされていると思う
- 自分を理解し支えてくれている人がある
- 自分には短所もあるが長所もある
- 失敗や困難があってもめげない
- 誰かのために何かをしたいと思う
- 自分のことを自分で決められる
- 自分の行動・判断を信じていることができる
- 自分を大切に思っている
- 他者を大切に思っている
- 自分らしくのびのびと生きている
- 自分には良いところがあったくない
- 失敗してしまう自分はだめな人間だと思う
- 周りの目を気にする

質問紙調査の結果と考察

質問1 子どもが考える 「よい子像」



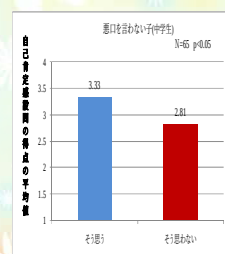
質問紙調査の結果と考察



「よい子像」の質問項目

- 誰にでも優しい子
- 人を思いやれる子
- 挨拶ができる子
- ルールや決まりが守れる子
- ごめんね・ありがとうが言える子
- 先生から信頼されている子
- 友達から信頼されている子
- 成績が良い子
- 責任感がある子
- 悪口を言わない子
- まじめな子
- 正義感が強い子
- 人気がある子
- 気配りができる子
- いい子ぶっている子
- 大人の話すことを聞く子
- 何にでも一生懸命な子
- その他

質問紙調査の結果と考察

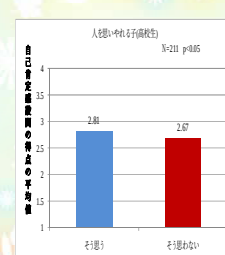


自己肯定感が高い者は
「悪口を言わない子」を
「よい子」だと思う

「よい子像」の質問項目

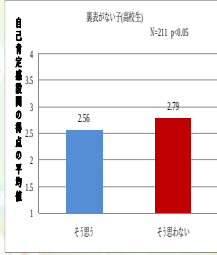
- 誰にでも優しい子
- 人を思いやれる子
- 挨拶ができる子
- ルールや決まりが守れる子
- ごめんね・ありがとうが言える子
- 先生から信頼されている子
- 友達から信頼されている子
- 成績が良い子
- 責任感がある子
- 悪口を言わない子
- まじめな子
- 正義感が強い子
- 人気がある子
- 気配りができる子
- いい子ぶっている子
- 大人の話すことを聞く子
- 何にでも一生懸命な子
- その他

質問紙調査の結果と考察



自己肯定感が高い者は
「人を思いやれる子」を
「よい子」だと思う

質問紙調査の結果と考察



自己肯定感が高い者は
「裏表がない子」を
「よい子」だと思わない

質問紙調査の結果と考察

- 誰にでも優しい子
- 人を思ひやれる子
- 挨拶ができる子
- ルールや決まりが守られる子
- ごめんな、ありがとうがいえる子
- 先生から信頼されている子
- 友達から信頼されている子
- 成績が良い子
- 責任感がある子
- 悪口を言わない子
- まじめな子
- 正義感が強い子
- 人気がある子
- 気配りができる子
- 義理がない子
- いい子ぶっている子
- 大人の言うことを聞く子
- 何人でも一生懸命な子
- その他

有意差の見られなかった「よい子像」の項目は自己肯定感が高い者にも低い者にも共通する「よい子像」であると考え、自己肯定感と「よい子像」に直接的な関係は見られなかった。

- | | |
|----------------|-------------|
| 誰にも優しい子 | 悪口を言わない子 |
| 人を怒いやれる子 | まじめな子 |
| 挨拶ができる子 | 正義感が強い子 |
| ルールや決まりが守られる子 | 人気があがる子 |
| こめんな、ありがとうがいる子 | 気配りができる子 |
| | 義侠心がない子 |
| 先生から信頼されている子 | いじ子ぶっている子 |
| 友達から信頼されている子 | 大人の言うことを聞く子 |
| 成績が良い子 | 何にも——生懸命な子 |
| 責任感がある子 | その他 |

有意差の見られなかった「よい子像」の項目は自己肯定感が高い者にも低い者にも共通する「よい子像」であると考える。自己肯定感と「よい子像」に直接的な関係は見られなかった。

質問紙

質問3 単純集計(全体)

■ はい
■ いいえ

質問3
自分自身をよい子
だと思うか

質問1-自己肯定感の平均値
5/27.9/5/6/5/21/5/8/55

回答	自己肯定感の平均値
いいえ	3.48
はい	2.79

■ いいえ
■ はい

*「自分はよい子か」と自己肯定感には関係性が見られた。

質問3
自分自身をよい子
だと思うか

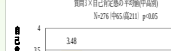
質問3 単純集計(全体)

質問1に回答した者の平均年齢は
男:27.7歳 女:27.6歳



回答	割合
はい	79.9%
いいえ	20.1%

質問3に回答した者の平均年齢は
男:27.7歳 女:27.6歳



回答	男 (平均年齢)	女 (平均年齢)
はい	34.8	33.6
いいえ	27.7	27.6

※「自分はよい子か」と自己肯定感には関係性が見られた。

考察 (1)

- ＊ 保護者の理想の子ども像が子ども自身に内面化していると考える。
- ＊ 「よい子像」は子どもの発達段階や経験も影響していると考える。
- ＊ 中学生は「性格重視」、高校生は「社会性重視」のよい子像

- ＊保護者の理想の子ども像が子ども自身に内面化していると考える。
- ＊「よい子像」は子どもの発達段階や経験も影響していると考える。
- ＊中学生は「性格重視」、高校生は「社会性重視」のよい子像

考察(1)

* 「はい」と回答した中高生は
…自分を保護者の「理想の子ども像」に当てはめることによって自己肯定感を高く保っている。

- ★「はい」と回答した中高生は
…自分を保護者の「理想の子ども像」に当てはめることによって自己肯定感を高く保っている。

考察 (1)

- ★「いいえ」と回答した中高生は
…今まで同一化してきた保護者の価値から
離れ自己を確立する思春期であるので、「よ
い子」と答えることに抵抗がある。
- …保護者の「理想の子ども像」に当てはまっ
ていないが、自分を自分らしく保てているため
自己肯定感があまり低くは出なかった。

- …保護者の「理想の子ども像」に当てはまっていないう、自分を自分らしく保てているため自己肯定感があまり低くは出なかった。

質問紙調査の結果と考察

**保護者と十分コミュニケーションが
取れていると思うか**
N=211

A pie chart with five segments. The largest segment is orange, representing 'そう思う' (I think so), at 42.4%. The next largest is yellow, representing 'ややそう思う' (I somewhat think so), at 41.6%. A green segment represents 'あまりそう思わない' (I don't think so much), at 12.1%. A small light blue segment represents '思わない' (I don't think so), at 3.0%. The smallest segment is a very light blue, representing '知らない' (I don't know), at 1.1%.

回答	割合
そう思う	42.4%
ややそう思う	41.6%
あまりそう思わない	12.1%
思わない	3.0%
知らない	1.1%

家族は自分のことを理解してくれていると思うか
N=211

A pie chart with five segments. The largest segment is orange, representing 'そう思う' (I think so), at 31.0%. The next largest is yellow, representing 'ややそう思う' (I somewhat think so), at 46.0%. A green segment represents 'あまりそう思わない' (I don't think so much), at 17.0%. A small light blue segment represents '思わない' (I don't think so), at 4.0%. The smallest segment is a very light blue, representing '知らない' (I don't know), at 2.0%.

回答	割合
そう思う	31.0%
ややそう思う	46.0%
あまりそう思わない	17.0%
思わない	4.0%
知らない	2.0%

質問紙調査の結果と考察

Spearmanのρ		自己肯定感の平均値	保護者と十分話せているか	家族は自分のことを理解しているか
自己肯定感の平均値	相関係数	1	-0.412	-0.419
	有意確率	.	0	0
	N	275	273	270
保護者と十分話せていると思うか	相関係数	-0.412	1	0.478
	有意確率	0	.	0
	N	273	274	270
家族は自分のことを十分理解してくれていると思うか	相関係数	-0.415	0.478	1
	有意確率	0	0	.
	N	270	270	271

Spearmannのρ＝		自己肯定感の 平均値	保護者と十分話せ ているか	家族は自分のことを理解 してくれているか
自己肯定感の平均値	相関係数	1	-0.412	-0.419
	有意確率	0	0	0
	N	275	273	270
保護者と十分話せて いると思うか	相関係数	-0.412	1	-0.478
	有意確率	0	0	0
	N	273	274	0
家族は自分のことを 理解してくれてい ると思うか	相関係数	-0.419	0.478	1
	有意確率	0	0	0
	N	270	270	271

質問14
家族の中で一番
話す人

低調査の結果と考察

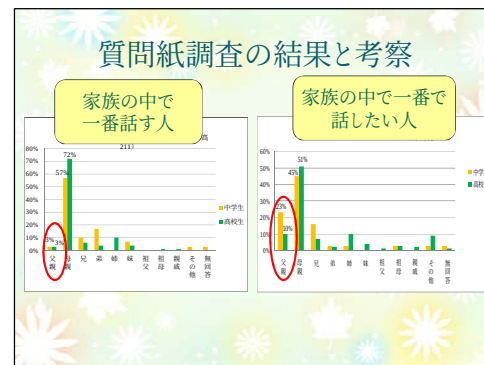
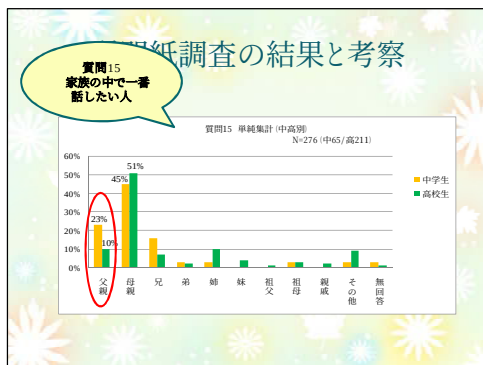
質問14 家族集計 (中高生)
N=276 (男65/歳11)

家族関係	中学生 (%)	高校生 (%)
父親	2%	1%
母親	57%	79%
兄弟	10%	10%
姉	18%	10%
妹	7%	10%
祖父	0%	0%
祖母	0%	2%
その他	2%	2%
無回答	2%	2%

質問14
家族の中で一
話す人

實例14 學業壓力 (中區組)
N=276 (中6/5/2/1)

壓力來源	中學生 (%)	高職生 (%)
父親	3%	1%
母親	57%	74%
兄長	18%	4%
兄弟	1%	1%
姊妹	8%	4%
祖父	0%	0%
祖母	0%	0%
父母	0%	0%
導師	0%	0%
其他	2%	1%
無壓力	0%	0%



考察 (2)

- 保護者と十分コミュニケーションを取ること、家族が自分のことを理解してくれていると感じていることが自己肯定感を高めることにつながっている。

結論

- 思春期であり、自立しようとしているにもかかわらず、中高生の「よい子像」はまだまだ保護者の「理想の子ども像」に囚われている。
- 「よい子像」は子どもの発達段階や経験といった要因も影響していると考える。

中学生は「性格重視」
高校生は「社会性重視」のよい子像

結論

- 自己肯定感と「よい子像」に直接的な関係は見られなかった。
- 自己肯定感の要因の一つに、保護者の存在があると考えられる

ご清聴ありがとうございました。